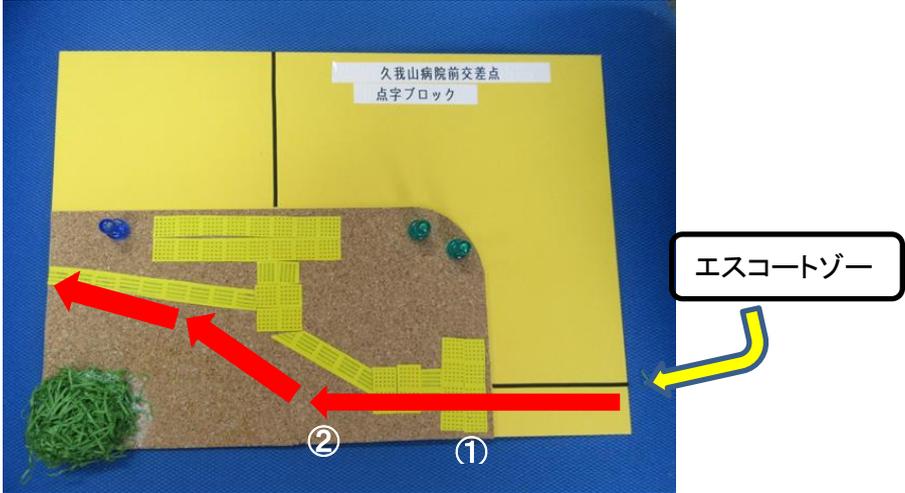


教材紹介カード		教科等	自立活動
教材名	触地図 (久我山病院前交差点点字ブロック)	部門	視覚障害教育部門
ねらい	点字ブロックの敷設状況を知り、歩行に活かす。		
写真	 <p>The photograph shows a tactile map on a corkboard. At the top, a label reads '久我山病院前交差点 点字ブロック' (Kikayama Hospital Front Intersection Braille Blocks). The map features yellow tactile blocks representing the sidewalk. A red arrow points from the sidewalk towards the road, indicating a crossing point. A yellow arrow points from the sidewalk towards the road, indicating an escort zone. A small pile of green grass is placed on the map. A callout box labeled 'エスコートゾーン' (Escort Zone) points to the yellow arrow. The map is numbered 1 and 2 at the bottom.</p>		
指導内容 ・ 指導方法	<p>歩行練習前及び歩行練習後に触察学習を行い、対象箇所の点字ブロックの敷設状況を地図で確認する。</p> <p>なお、点字ブロック上をそのまま移動する方法もあるが、対象箇所は敷設状況が複雑だったため、以下のような指導をするために本教材を作成し、活用した。</p> <p>「エスコートゾーンを利用して横断した場合、警告の点字ブロック(点状)(※1)を足裏で確認したら、方向を変えずに直進します。点字ブロックから外れたら(※2)、ゆるやかに、ゆっくりと右斜め方向(道路側)に移動して行って(※赤矢印)、誘導ブロック(線状)を発見してバス停まで移動します。」</p>		
特徴 ・ 留意点	<p>○触察しやすいよう、肩幅程度の大きさであるA4判サイズにした。</p> <p>○点字ブロック部分は、点と線が立体になっており、触って識別できる。視覚でも確認しやすいよう、点字ブロックの基本色である黄色に着色してある。</p>		
材料・製作上のポイント	<p>点字ブロック部分は、点字ブロックのイラストを用いて立体コピーで作成し、黄色に着色した。なお、この素材は、元都立八王子盲学校教諭・沼崎敬三氏より御教授いただいたものである。</p>		